

【様式1】 CAN-DO LIST 2025

学校名:	錦江湾	高等学校	大学科:	普通
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		学年	2年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 □	情報や自分の考えをまとめるために、話される会話から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。	1・2	単元末テスト	1学期	ア
	L2 □	情報や自分の考えをまとめるために、ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性についての説明文とインタビュー記事から、必要な情報を聞き取り、文章の展開や書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。	5	単元末テスト	2学期	イ
	L3 □	情報や自分の考えをまとめるために、考案されたロボットの機能や役割について話されるプレゼンテーションから、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。	10	単元末テスト	3学期	イ
Reading	R1 □	情報や自分の考えをまとめるために、特定の話題から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。	1・2	単元末テスト	1学期	イ
	R2 □	情報や自分の考えをまとめるために、ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性についての説明文とインタビュー記事から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。	5	単元末テスト	2学期	イ
	R3 □	情報や自分の考えをまとめるために、ある人物の経歴、人物像、夢などについて書かれた伝記から、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。	9	単元末テスト	3学期	ア
Speaking Interaction	SI1 □	自分の考えをまとめるために、好きなスポーツ選手の経歴などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、インタビュー形式で詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。	3	インタビューテスト、ロールプレイ	1学期	ア
	SI2 □	友達の考えを踏まえて、新紙幣やキャッシュレス社会に対する賛成・反対の両方の意見について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考え・意見を整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。	6	インタビューテスト、ディスカッション	2学期	イ
	SI3 □	友達の意見を知り、自分の考えをまとめるために、バシー・コールマンの視点から、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、インタビュー形式で詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。	9	ディベート	3学期	ア
Speaking Presentation	SP1 □	クラスの友達に関心をもってもらうために、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに詳しく話して伝えることができる。	2	スピーチ、プレゼンテーション	1学期	イ
	SP2 □	納豆パウダーという製品を広めるために、製品の利点などについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠、実例とともに詳しく話して伝えることができる。	8	スピーチ、インタビューテスト	2学期	イ
	SP3 □	イラストで具体的なイメージを示しながら、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、聞いたり読んだりしたことを活用して、情報を整理し、理由や根拠とともに論理的に詳しく話して伝えることができる。	10	スピーチ、プレゼンテーション	3学期	ア
Writing	W1 □	自分の好きなスポーツ選手や有名人について、クラスの友達に知ってもらうために、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や質問事項を整理し、理由や根拠とともにインタビュー番組の台本を詳しく書いて伝えることができる。	3	単元末テスト	1学期	ア
	W2 □	自分の考えを友達に提案するために、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色についての発表用の原稿を、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理性に注意して詳しく書いて伝えることができる。	7	単元末テスト	2学期	イ
	W3 □	自分のアイデアを伝えるために、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、聞いたり読んだりしたことを活用して、発表用の原稿を情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理的に書いて伝えることができる。	10	エッセイライティング	3学期	イ

※一番右の欄のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2025

学校名:	錦江湾 高等学校	学 年:	2年
科目名:	英語コミュニケーションⅡ	大学科:	普通

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4・5	1	L	ア	単元末テスト	L1□	情報や自分の考えをまとめるために、話される会話から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	4・5	1	R	ア	単元末テスト	L1□	日本や海外でのストリートピアノについてのレポートから、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	6	2	R	イ	単元末テスト	R1□	現代のファッションについてのニュース記事から、必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	6	2	SP	イ	PT	SP1□	自分の好きなファッションについて、聞いたり読んだりしたことを活用し、情報や自分の考えを理由や根拠とともに詳しく話して伝えることができる。
	6・7	3	SI	ア	PT	SI1□	好きなスポーツ選手の経歴などについて、情報や自分の考えを整理し、インタビュー形式で詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。
	6・7	3	W	ア	単元末テスト	W1□	自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や質問事項を整理し、理由や根拠とともにインタビューの台本を詳しく書いて伝えることができる。
2	9	5	L	イ	単元末テスト	L2□	ブレイルノイエの開発者の学生時代について話されるインタビューから、話の展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	9	5	R	イ	単元末テスト	R2□	ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性についての説明文から、文章の展開や書き手の意図、概要や要点を整理して把握することができる。
	9・10	6	L	イ	単元末テスト	L2□	キャッシュレス社会に対する賛成・反対の意見を述べている会話から、話の展開や話し手の意図、概要や要点を整理して把握することができる。
	9・10	6	SI	イ	PT	SP2□	新紙幣やキャッシュレスに対する賛否の意見について知り得たことを活用し、情報を整理し、話して伝え合うやり取りを続けることができる。
	10・11	7	L	イ	単元末テスト	L2□	色の心理的効果についてのラジオ番組の解説から、話の展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	10・11	7	W	イ	単元末テスト	W2□	色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色についての原稿を、情報や自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理的に書いて伝えることができる。
	11・12	8	L	イ	単元末テスト	L2□	納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみについての論説文から、文章の展開や書き手の意図、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	11・12	8	SP	イ	PT	SP2□	納豆パウダーという製品を広めるために、製品の利点などについて、理由や根拠、実例とともに論理的に詳しく話して伝えることができる。
3	1・2	9	R	ア	単元末テスト	R3□	黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴、人物像、夢などについて書かれた伝記から、概要や要点、詳細を整理して把握することができる。
	1・2	9	SI	ア	ディベート	SI3□	ベシー・コールマンの視点から、情報や自分の考えを整理し、インタビュー形式で詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。
	2・3	10	L	ア	単元末テスト	L3□	考案されたロボットの機能や役割について話されるプレゼンテーションから、話の展開や話し手の意図、概要や要点を整理して把握することができる。
	2・3	10	SP	ア	PT	SP3□	考案されたロボットの機能や役割について、情報や自分の考えを整理し、詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。
	2・3	10	W	ア	エッセイライティング	W3□	自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、発表用原稿を自分の考えを整理し、理由や根拠とともに論理的に書くことができる。

英語コミュニケーションⅡ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
「やり取り」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話し、伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話し、伝え合うことができるようにする。
「発表」	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。